

ろうきん友の会宇都宮支部一泊旅行記

信州湯田中温泉への旅行を実施

去る11月5日(水)から6日(木)にかけて、恒例の一泊旅行を実施しました。

総勢36名(男性18人・女性18人)一行は、宿泊するホテル手配の観光バスで一路信州湯田中温泉に向けて、宇都宮駅東口を出発しました。途中、碓氷峠の紅葉は素晴らしく「ワー、きれいだねー」「時期も良かったねー」など、参加者からの感嘆の声がもれました。

昼食を済ませた後に、中山晋平記念館を見学しました。中山晋平は「てるてる坊主」「ゴンドラの歌」など、世代を超えて歌い継がれる名曲を数多く残しています。宇都宮市にゆかりの深い詩人野口雨情と共作の「シャボン玉」や「船頭小唄」なども歌い継がれています。



▲『ホテル豊生』玄関前にて集合写真撮影

宿は「心が和み湯の香うるわし」天然温泉が自慢の『ホテル豊生』に宿泊しました。天然温泉に浸かって旅の疲れを癒し、しばし休憩して鋭気を養ってから懇親会場へと足を運びました。懇親会はお互いにお酒を酌み交わしながら親交を深め、和気あいあいとなりほろ酔い加減が頂点に達したところ、歌自慢が美声を披露して大いに盛り上がりました。



▲『ホテル豊生』にて懇親会

二日目は誰もが知っている、最近ではパワースポットでも有名な『善光寺参り』です。一生に一度は善光寺にお参りすると極楽浄土に行ける、と昔から言い伝えがあり「牛にひかれて善光寺参り」のことわざは有名です。日本最古の仏像(一光三尊阿弥陀如来)がご本尊で、宗派を問わず誰でも参拝することの出来るお寺でもあります。当日は大勢の参拝客や観光客でにぎわっていました。海外からのお客様も多く見られました。



▲『善光寺参り』風景

門前のレストランで昼食をとった後、本堂の見学や地下回廊巡りを体験する参加者の姿が印象的でした。途中何力所かの土産店に寄り、信州名物を手にして帰路につきました。

福田会長から、お陰様で皆様のご協力でつつがなく終了出来たこと、「来年もより良い企画が提供できるよう計画するので、参加して頂きたい」との感謝とお礼のあいさつがあり散会となりました。

参加者の皆様、1年間健康で来年も会えることを楽しみにしています。

今後の行事予定

- そば打ち交流会
5月中に開催しますが、日程は調整中です。
- ろうきん友の会だより
随時発行しています。
発行の際は、「中央ろうきん友の会」のホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。